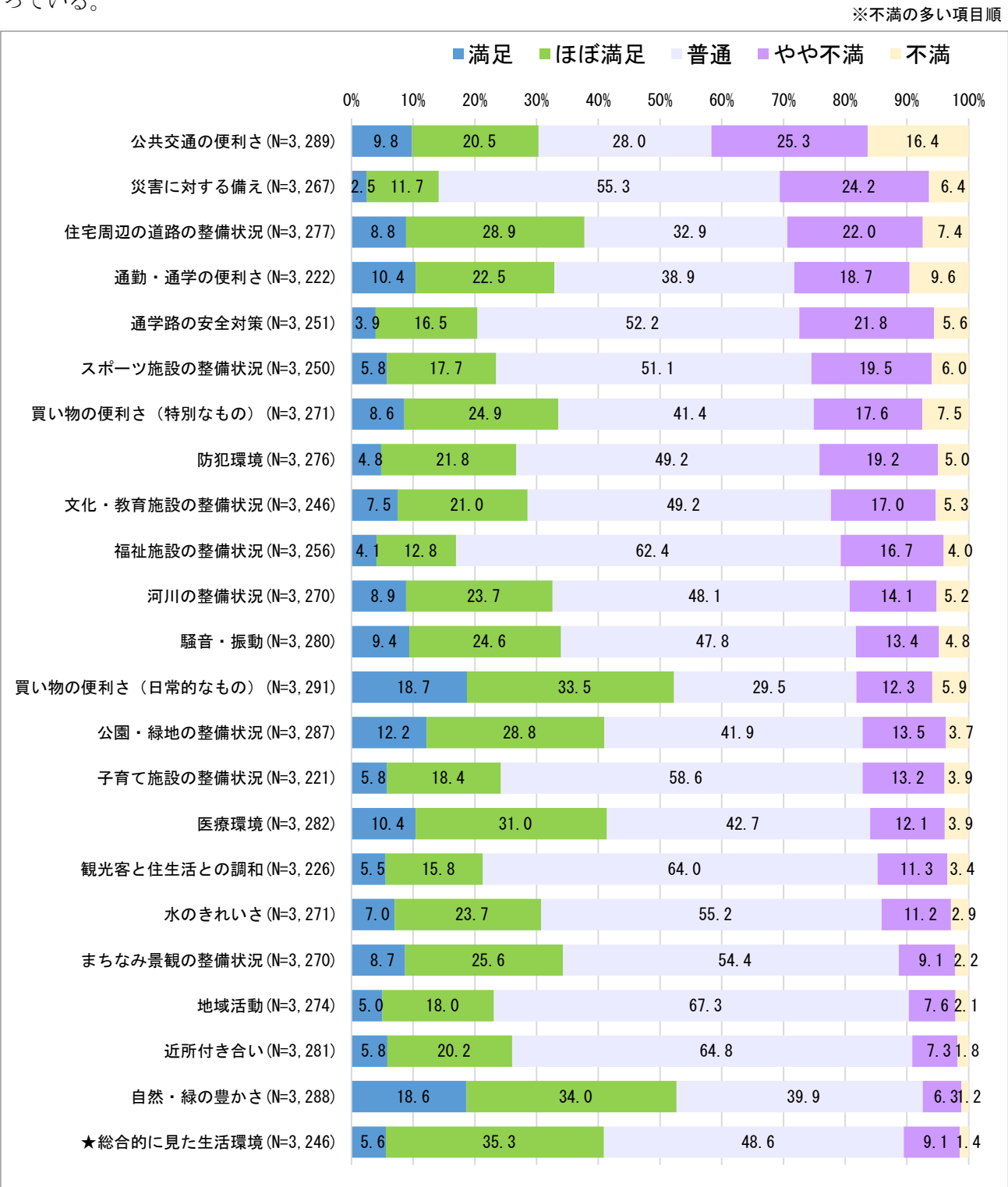


「金沢市都市計画マスタープラン」改定に向けた市民意識アンケート調査 結果概要

問 1 現在住んでいる居住地区及び周辺の生活環境に対する満足度

現在住んでいる居住地区及び周辺の生活環境に対する満足度について「不満」（やや不満＋不満）の多い項目をみると、「公共交通の便利さ」（41.7％）が最も多く、次いで「災害に対する備え」（30.6％）、「住宅周辺の道路の整備状況」（29.4％）となっている。「総合的に見た生活環境」としては、「満足」（満足＋ほぼ満足）は（40.9％）となっている。



※「公共交通の便利さ」、「通勤・通学の便利さ」の「不満」（やや不満＋不満）の割合は、前回調査時より 10 ポイント以上増加。
「住宅周辺の道路の整備状況」、「医療環境」の「不満」（やや不満＋不満）の割合は、前回調査時より 5 ポイント以上増加。
(前回調査：平成 29 年 9 月)

■市民意識アンケート調査の概要

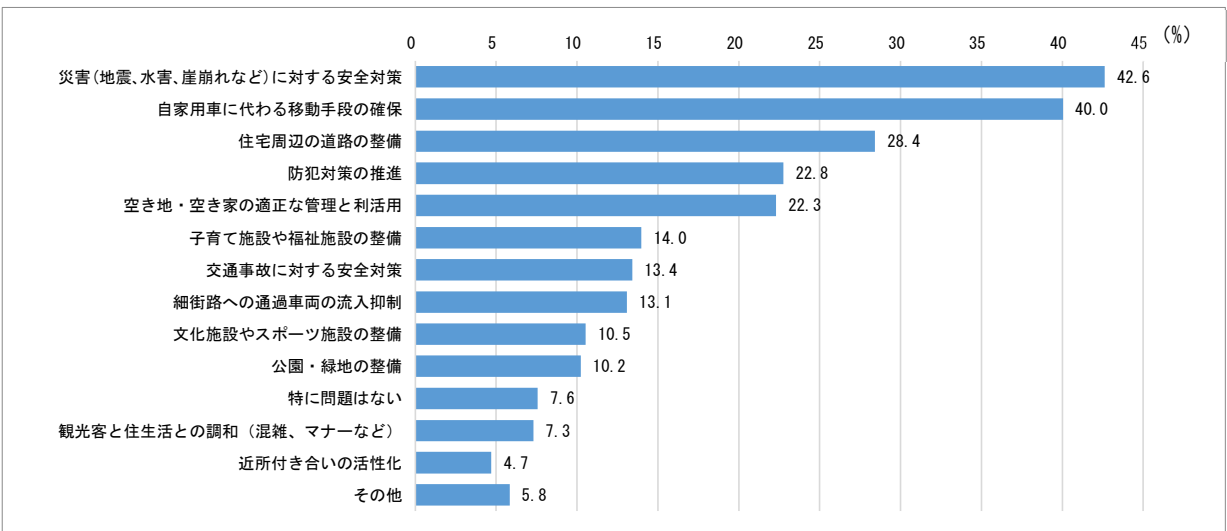
現在住んでいる居住地区周辺の身近なまちづくりや市全体の都市づくりに対する市民の意識を調査

- ・実施期間 令和 7 年 9 月 1 日～9 月 19 日
- ・対 象 者 18 歳以上の市内居住者 10,000 人（無作為抽出）
- ・回収状況 3,339 票（回収率 33.4％）（郵送回答：2,098 票、インターネット回答：1,241 票）
- ・設問内容

- 問 1. 現在住んでいる居住地区及び周辺の生活環境に対する満足度
- 問 2. 快適な生活をするうえで、居住地区で解決が急がれる問題
- 問 3. 居住地区のまちづくりについて思うことについて（自由回答）
- 問 4. 過去約 10 年間の金沢市におけるまちづくりの取り組みに対する評価
- 問 5. 今後の金沢市のまちづくりで重視してほしい取り組み
- 問 6. 金沢市全体の将来像
- 問 7. 金沢市をもっと住みよくするために必要なこと
（土地利用、市街地整備、交通、公園・緑地、自然・都市環境、景観、防災、その他市民生活を支える施設）
- 問 8. 金沢市が成熟都市として持続的に発展するために目指すべき方向性
（金沢市集約都市形成計画、市街化展開、交通、地域住民のつながり・支え合い、観光振興）
- 問 9. 性 別
- 問 10. 年 齢
- 問 11. 居住地町丁名
- 問 12. 居住年数
- 問 13. まちづくり活動への参加の形
- 問 14. 「木の文化都市・金沢」の認知度
- 問 15. まちづくりへの意見・要望等（自由回答）

問 2 快適な生活をするうえで、居住地区で解決が急がれる問題（複数回答）

居住地区で優先的に取り組むべき課題は、「災害（地震、水害、崖崩れなど）に対する安全対策」（42.6％）が最も多く、次いで「自家用車に代わる移動手段の確保」（40.0％）、「住宅周辺の道路の整備」（28.4％）となっている。



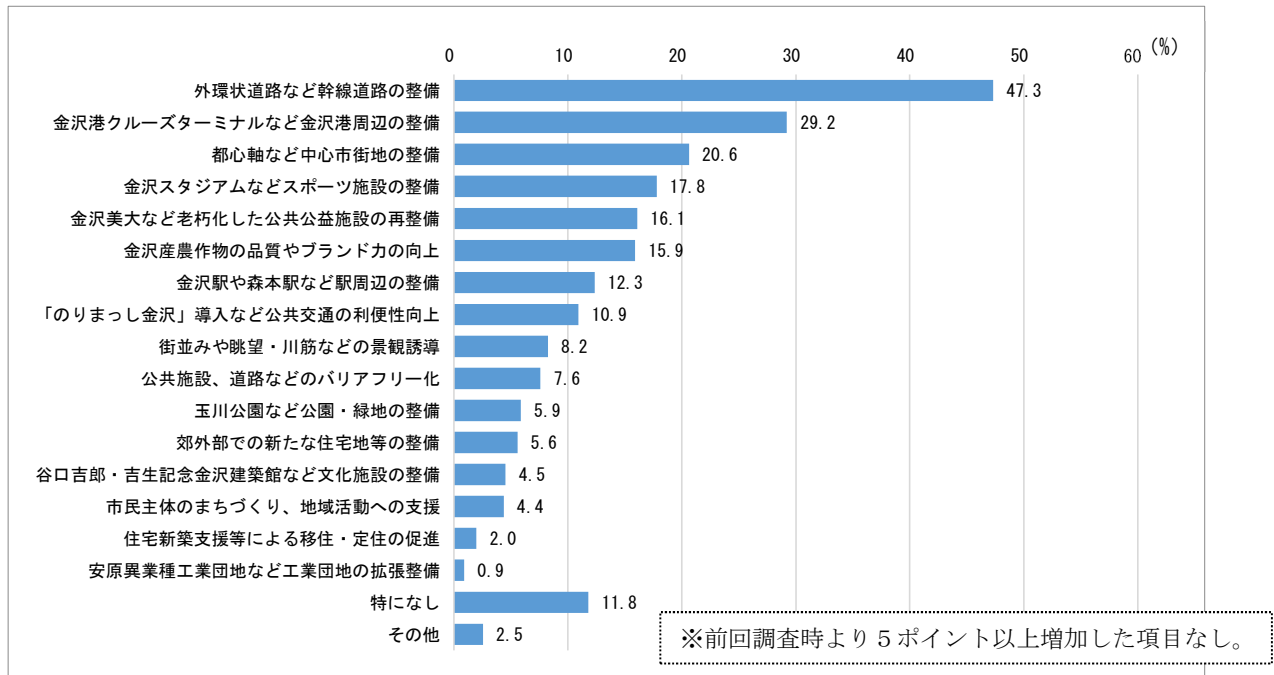
※「細街路への通過車両の流入抑制」は、今回新たに設定した項目。

※「災害に対する安全対策」は、前回調査時より 10 ポイント以上増加。
「自家用車に代わる移動手段の確保」、「住宅周辺の道路の整備」は、前回調査時より 5 ポイント以上増加。

「金沢市都市計画マスタープラン」改定に向けた市民意識アンケート調査 結果概要

問 4 過去約 10 年間のまちづくりの取り組みに対する評価（複数回答）

過去約 10 年間のまちづくりの取り組みに対する評価は、「外環状道路など幹線道路の整備」（47.3%）が最も多く、次いで「金沢港クルーズターミナルなど金沢港周辺の整備」（29.2%）、「都心軸など中心市街地の整備」（20.6%）となっている。

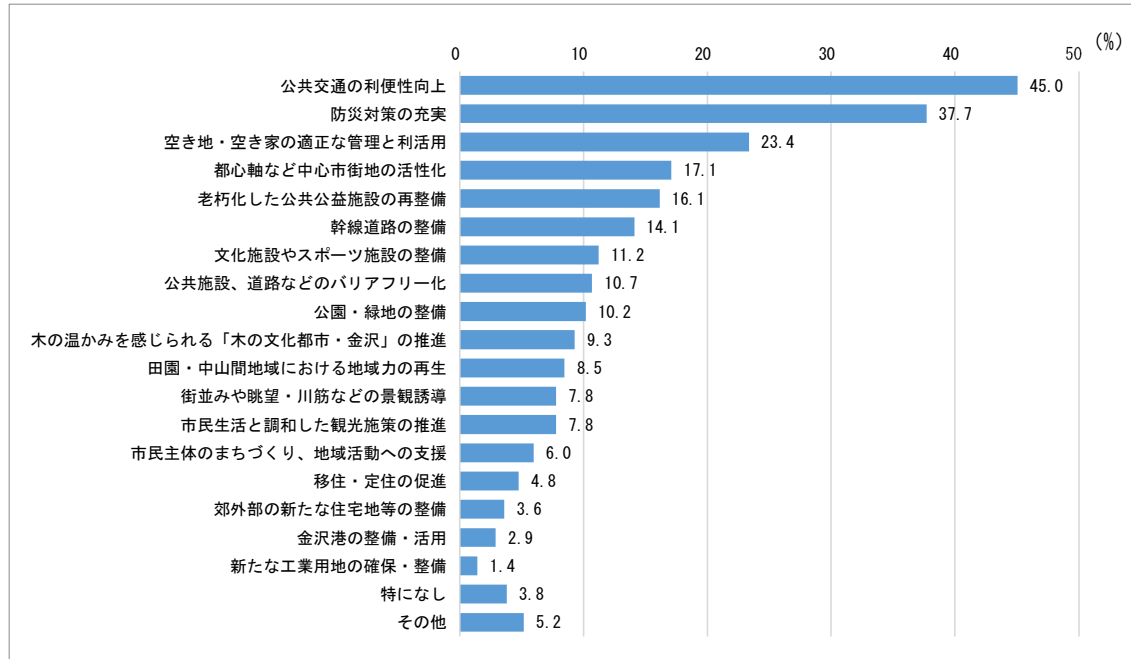


※「金沢港クルーズターミナルなど金沢港周辺の整備」、「金沢スタジアムなどスポーツ施設の整備」、「金沢産農作物の品質やブランド力の向上」、「谷口吉郎・吉生記念金沢建築館など文化施設の整備」、「安原異業種工業団地など工業団地の拡張整備」は、今回新たに設定した項目。

※前回調査時より 5 ポイント以上増加した項目なし。

問 5 今後の金沢市のまちづくりで重視してほしい取り組み（複数回答）

今後の金沢市のまちづくりで重視してほしい取り組みは、「公共交通の利便性向上」（45.0%）が最も多く、次いで「防災対策の充実」（37.7%）、「空き地・空き家の適正な管理と利活用」（23.4%）となっている。

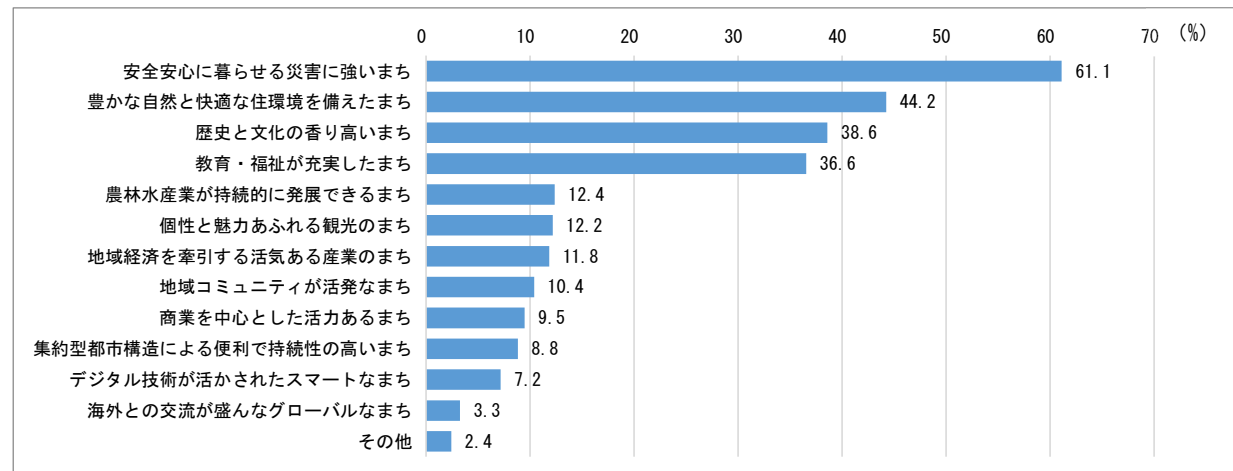


※「老朽化した公共公益施設の再整備」、「木の温かみを感じられる「木の文化都市・金沢」の推進」、「田園・中山間地域における地域力の再生」、「新たな工業用地の確保・整備」は、今回新たに設定した項目。

※前回調査時より 5 ポイント以上増加した項目なし。

問 6 金沢市全体の将来像（複数回答）

金沢市全体の将来像は、「安全安心に暮らせる災害に強いまち」（61.1%）が最も多く、次いで「豊かな自然と快適な住環境を備えたまち」（44.2%）、「歴史と文化の香り高いまち」（38.6%）となっている。



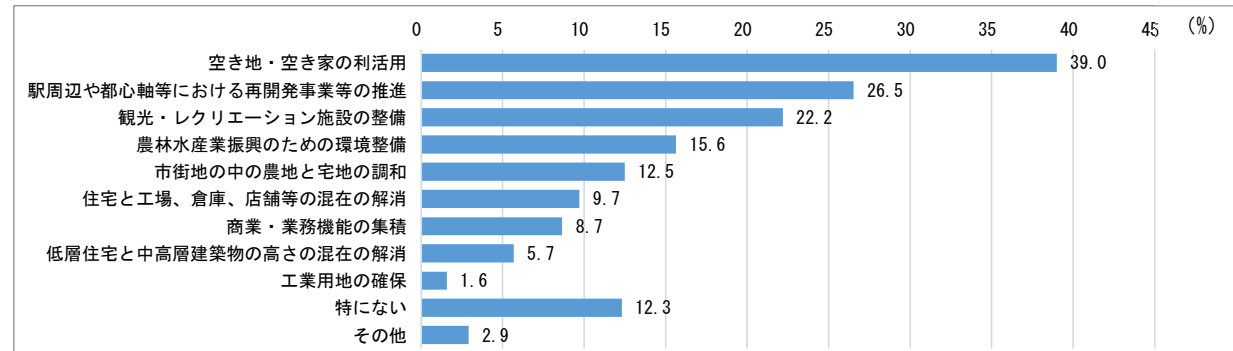
※「地域コミュニティが活発なまち」、「集約型都市構造による便利で持続性の高いまち」は、今回新たに設定した項目。

※「農林水産業が持続的に発展できるまち」は、前回調査時より 5 ポイント以上増加。

問 7 金沢市をもっと住みよくするために必要なこと（複数回答）

【土地利用】

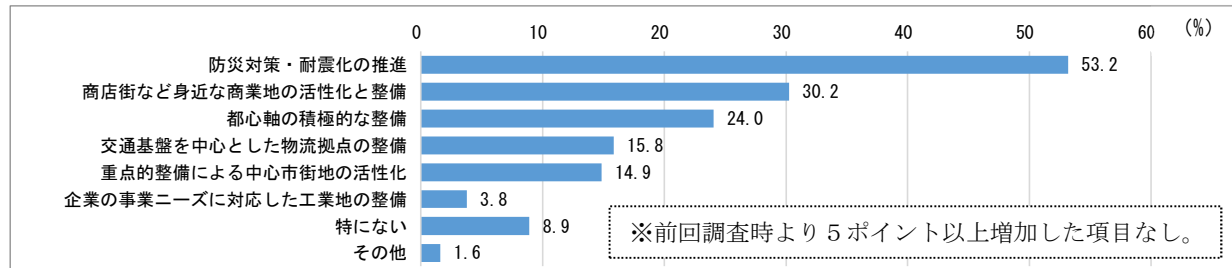
金沢市を住みよくするための土地利用は、「空き地・空き家の利活用」（39.0%）が最も多く、次いで「駅周辺や都心軸等における再開発事業等の推進」（26.5%）、「観光・レクリエーション施設の整備」（22.2%）となっている。



※「駅周辺や都心軸等における再開発事業等の推進」、「農林水産業振興のための環境整備」は、前回調査時より 10 ポイント以上増加。

【市街地整備】

金沢市を住みよくするための市街地整備は、「防災対策・耐震化の推進」（53.2%）が最も多く、次いで「商店街など身近な商業地の活性化と整備」（30.2%）、「都心軸の積極的な整備」（24.0%）となっている。



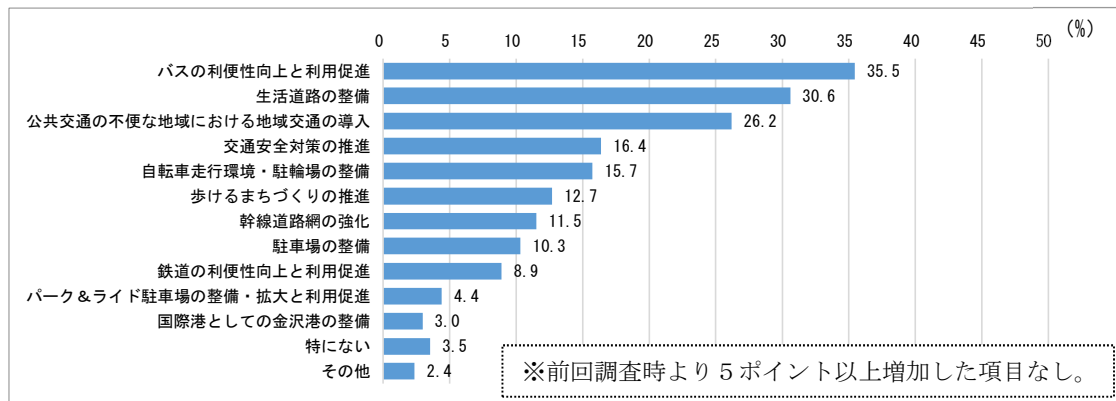
※前回調査時より 5 ポイント以上増加した項目なし。

「金沢市都市計画マスタープラン」改定に向けた市民意識アンケート調査 結果概要

問7 金沢市をもっと住みよくするために必要なこと（複数回答）

【交通】

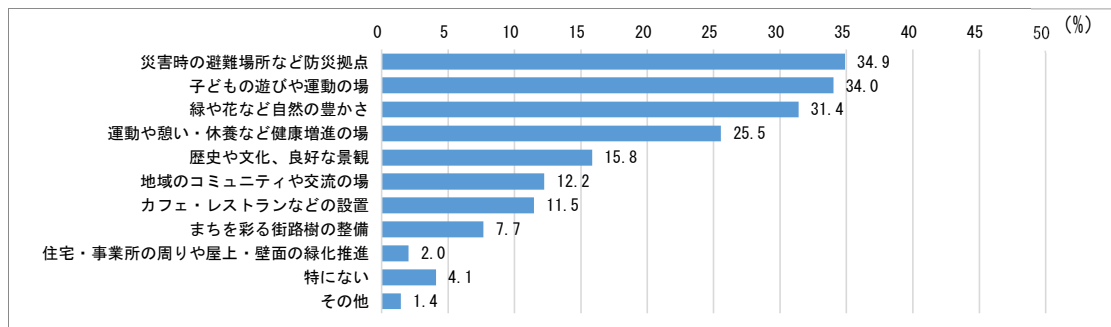
金沢市を住みよくするための交通は、「バスの利便性向上と利用促進」（35.5%）が最も多く、次いで「生活道路の整備」（30.6%）、「公共交通の不便な地域における地域交通の導入」（26.2%）となっている。



※「公共交通の不便な地域における地域交通の導入」、「自転車走行環境・駐輪場の整備」、「歩けるまちづくりの推進」は、今回新たに設定した項目。

【公園・緑地が担うべき役割等】

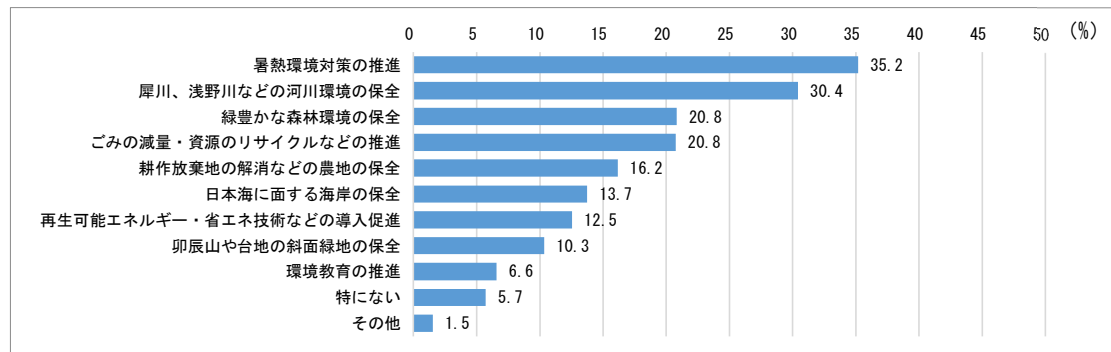
金沢市を住みよくするために公園・緑地が担うべき役割等は、「災害時の避難場所など防災拠点」（34.9%）が最も多く、次いで「子どもの遊びや運動の場」（34.0%）、「緑や花など自然の豊かさ」（31.4%）となっている。



※「子どもの遊びや運動の場」、「カフェ・レストランなどの設置」は、前回調査時より5ポイント以上増加。

【自然・都市環境】

金沢市を住みよくするための自然・都市環境は、「暑熱環境対策の推進」（35.2%）が最も多く、次いで「犀川、浅野川などの河川環境の保全」（30.4%）、「緑豊かな森林環境の保全」、「ごみの減量・資源のリサイクルなどの推進」（20.8%）となっている。

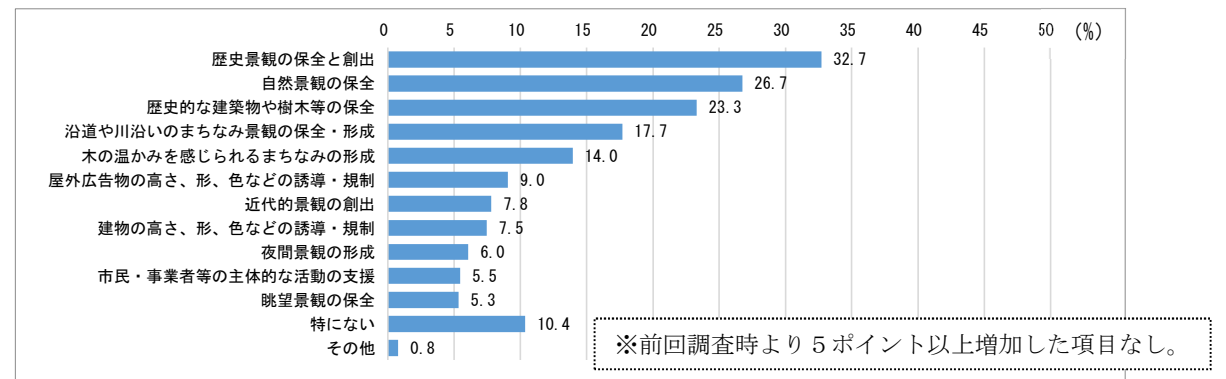


※「暑熱環境対策の推進」は、今回新たに設定した項目。

※前回調査時より5ポイント以上増加した項目なし。

【景観】

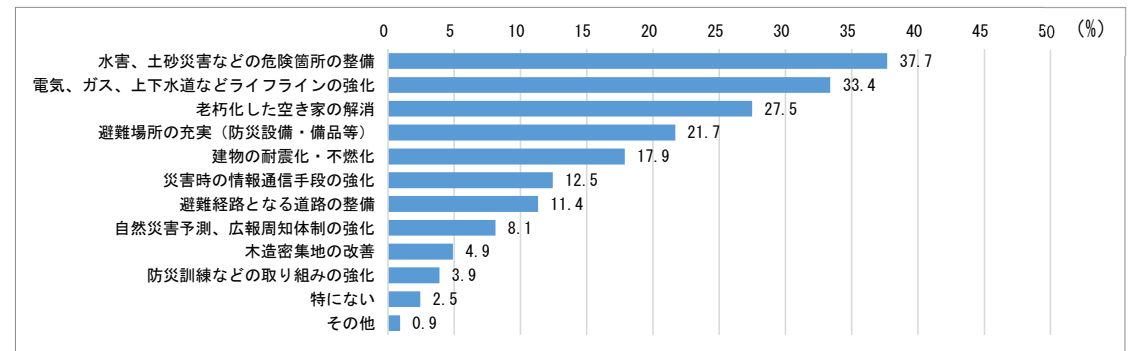
金沢市を住みよくするための景観は、「歴史景観の保全と創出」（32.7%）が最も多く、次いで「自然景観の保全」（26.7%）、「歴史的な建築物や樹木等の保全」（23.3%）となっている。



※「木の温かみを感じられるまちなみの形成」は、今回新たに設定した項目。

【防災】

金沢市を住みよくするための防災は、「水害、土砂災害などの危険箇所の整備」（37.7%）が最も多く、次いで「電気、ガス、上下水道などライフラインの強化」（33.4%）、「老朽化した空き家の解消」（27.5%）となっている。

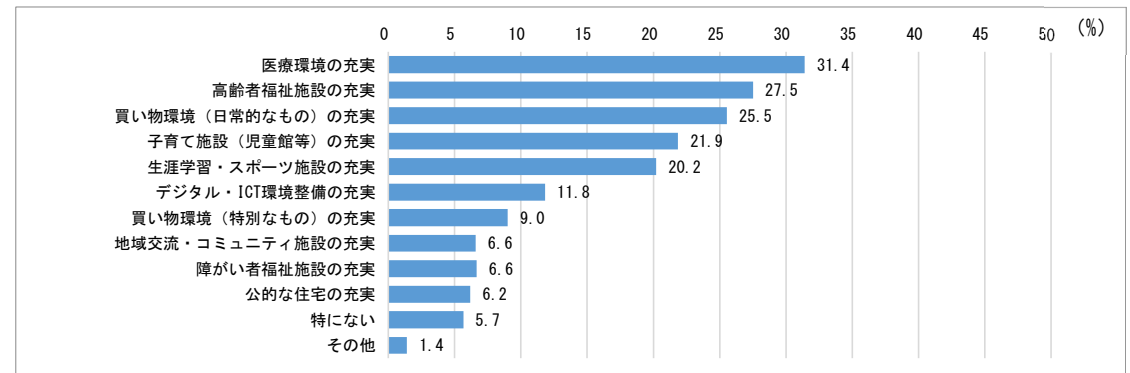


※「災害時の情報通信手段の強化」は、今回新たに設定した項目。

※「電気、ガス、上下水道などライフラインの強化」は、前回調査時より10ポイント以上増加。

【その他市民活動を支える施設等】

金沢市を住みよくするための市民活動を支える施設等は、「医療環境の充実」（31.4%）が最も多く、次いで「高齢者福祉施設の充実」（27.5%）、「買い物環境（日常的なもの）の充実」（25.5%）となっている。



※「デジタル・ICT環境整備の充実」、「地域交流・コミュニティ施設の充実」は、今回新たに設定した項目。

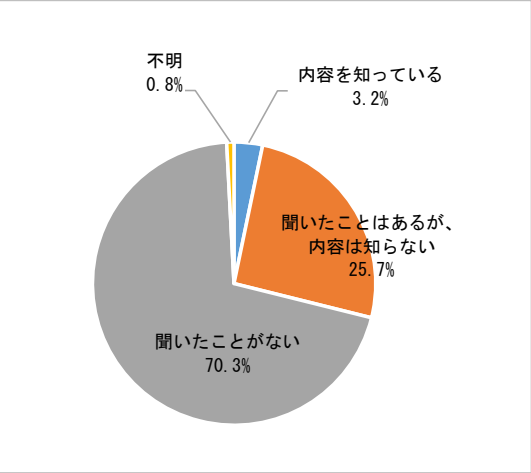
※「買い物環境（特別なもの）の充実」は、前回調査時より5ポイント以上増加。

「金沢市都市計画マスタープラン」改定に向けた市民意識アンケート調査 結果概要

問 8 金沢市が成熟都市として持続的に発展するために目指すべき方向性

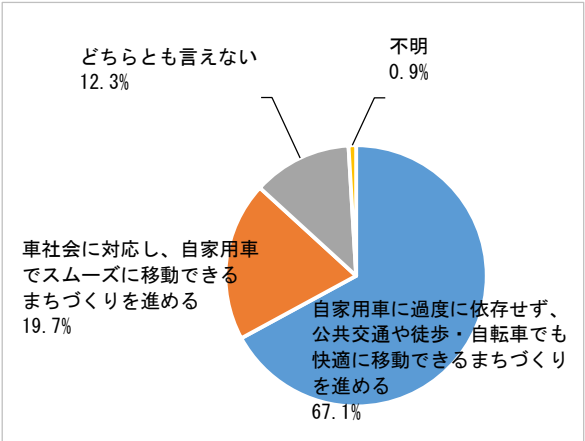
【金沢市集約都市形成計画の認知度】

金沢市集約都市形成計画の認知度は、「内容を知っている」(3.2%)、「聞いたことはある」(25.7%)、「聞いたことがない」(70.3%)となっている。



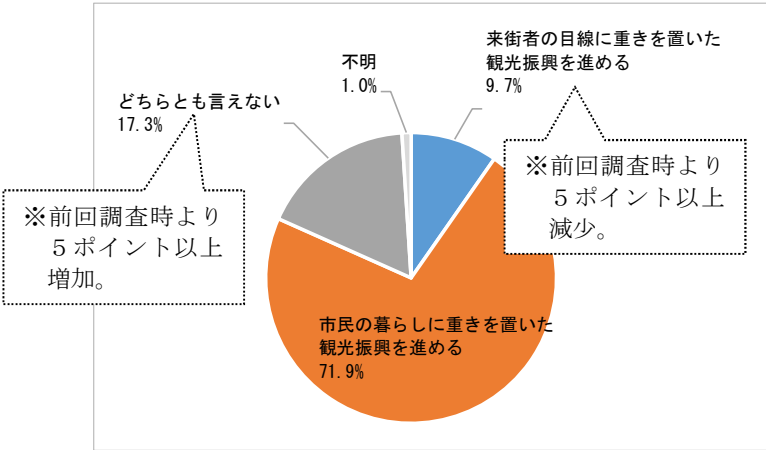
【交通】

交通の方向性は、「自家用車に過度に依存せず、公共交通や徒歩・自転車でも快適に移動できるまちづくりを進める」(67.1%)が最も多い。



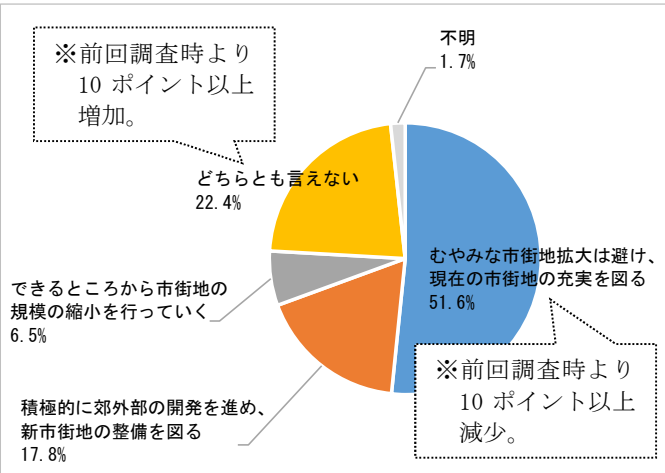
【観光振興】

観光振興の方向性は、「市民の暮らしに重きを置いた観光振興を進める」(71.9%)が最も多い。



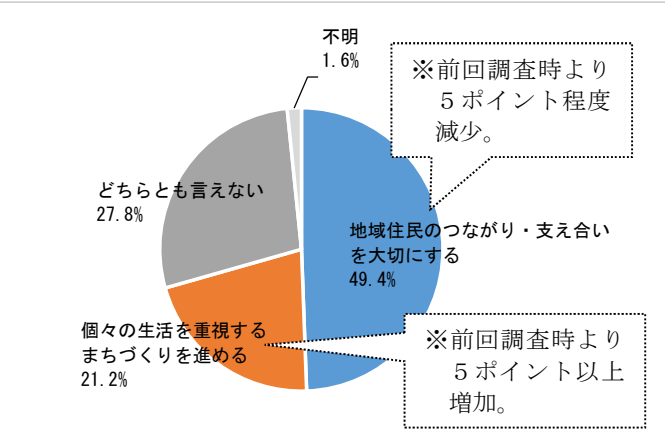
【市街化展開】

市街化展開の方向性は、「むやみな市街地拡大は避け、現在の市街地の充実を図る」(51.6%)が最も多い。



【地域住民のつながり・支え合い】

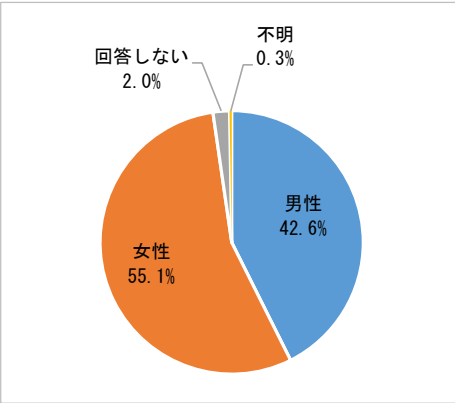
地域住民のつながり・支え合いの方向性は、「地域住民のつながり・支え合いを大切にする」(49.4%)が最も多い。



属性

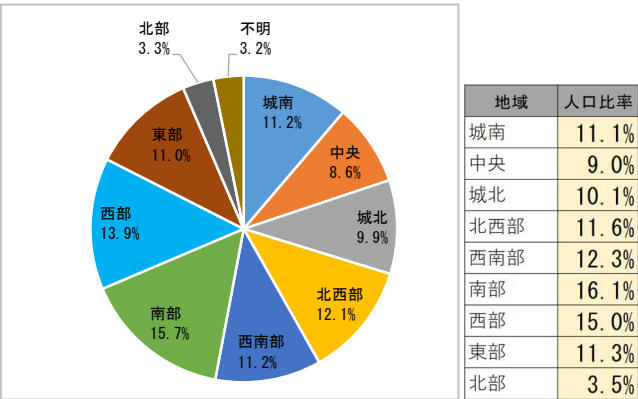
【性別】

回答者の性別は、男性が42.6%、女性が55.1%となっている。



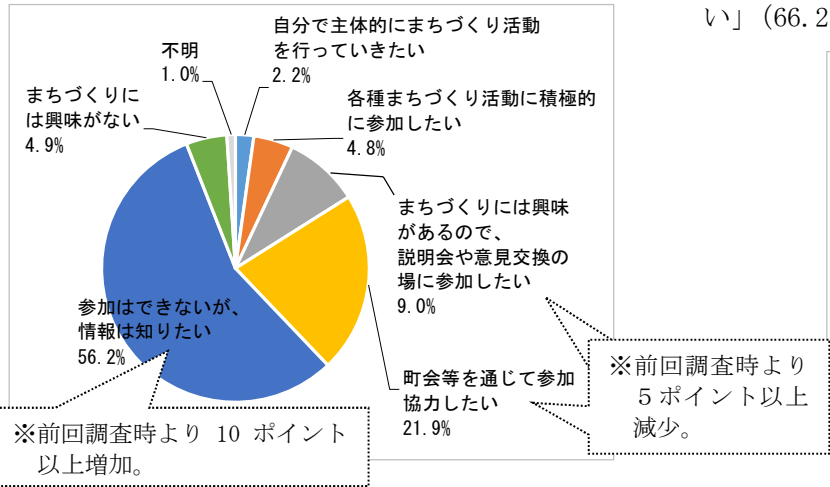
【居住地区】

回答者の居住地区は、「南部」(15.7%)が最も多く、次いで「西部」(13.9%)、「北西部」(12.1%)となっているが、地域別の人口比率とほぼ同等となっている。



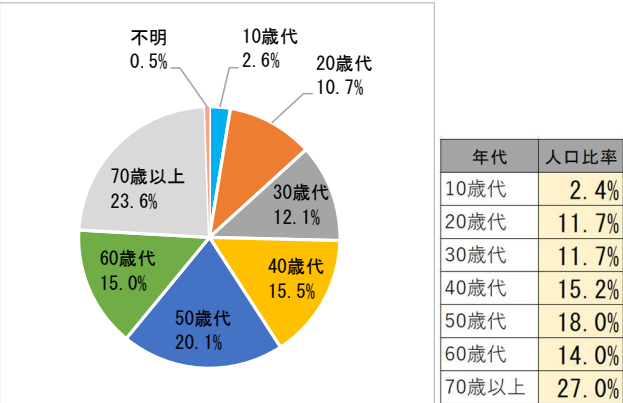
【まちづくり活動への参加】

まちづくりへの参加の形は、「参加はできないが、情報は知りたい」(56.2%)が最も多い。



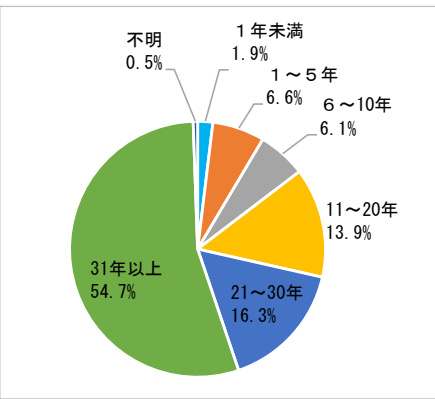
【年齢】

回答者の年代別構成比は、「70歳以上」(23.6%)が最も多く、「10歳代(18,19歳)」(2.6%)と最も少ないが、金沢市の年代別の人口比率とほぼ同等となっている。



【居住年数】

回答者の居住年数は、「31年以上」(54.7%)が最も多く、次いで「21～30年」(16.3%)、「11～20年」(13.9%)となっている。



【木の文化都市・金沢の認知度】

木の文化都市・金沢の認知度は、「知っている」(8.2%)、「聞いたことはある」(24.6%)、「知らない」(66.2%)となっている。

